

都市社会実践演習

担当教員： 前山 総一郎、八幡 浩二

履修年次・区分： 3年（専門－展開－共生・開発－選択）

授業のテーマ： 21世紀型の新たな「持続可能社会型開発」とは、どのようなものとしてあるべきかについて、身近な景観－開発問題を題材に実践的に調査し、学ぶ。人口減少社会において歴史的・景観的資産と活性化・開発とをいかに調和的にすすめるかという、すぐれて21世紀的な本テーマについて、自らの目（調査）で実際にとらえることにより、現代の地域社会が抱える問題の複合性と深さを実感レベルでとらえる。

この日の授業内容： 現地調査



神辺町での現地調査。まず、授業で入念な下準備をしてから現地に赴き、そこでもまた専門の方の講義を受けた後、自分の目で一つ一つ確かめていきました。実際に見ること、実感することで、学生たちの心には何かはっきりと染み込んだようです。

(2013年11月取材)